

授業科目	施設実習Ⅱ				単位	2		
履修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH31707J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-2 DP5-3			
担当教員	命婦 恭子、篠木 賢一、笠 修彰、池田 佐輪子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>福祉施設での実習を通して次の事項を学習する機会を設定する。 なお、実習先では実務家による指導を受ける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 養護・療育活動に参加し、適切な処遇のあり方を学ぶ。 2. 養護・療育計画を作成し、実施する機会を設定する。 3. 地域の中での福祉施設の役割について理解する。 							
学生が達成すべき行動目標	<p>福祉施設の役割と、そこで生活している子ども、専門職員の役割、他機関との連携、地域との連携などについて理解し報告できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象児・者についてのアセスメント内容を記述し説明することができる。 2. 養護・療育計画を作成することができる。 3. 養護・療育計画を実施することができる。 4. 施設の中での保育士の専門性について理解し説明することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	50	50	100	
知識・理解 (DP1-1)					5	5	10	
知識・理解 (DP1-2)					5	5	10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					5	5	10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					5	5	10	
関心・意欲 (DP3-2)					5	5	10	
態度 (DP4-1)					5	5	10	
態度 (DP4-2)					5	5	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-2)					5	5	10	
技能・表現 (DP5-3)					5	5	10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもと生活をともにする中で、子どものニーズを感じ取り、適切な処遇を選択し、実施することができる。 2. 保育士としての倫理を守り、子どもの人権を尊重した対応を実践することができる。 3. 職員の協働の様子を観察し、複数の可能な行動の中から実習生として適切な行動を選択できる。 4. 職員の指導のもと、養護・療育の計画を立て、実施することができる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもとともに生活し、子どもたちに受け入れられる関わり方を実践できる。 2. 保育士としての最低限の倫理を守ることができる。 3. 職員の協働の様子を観察し、実習生として適切な行動を説明することができる。 4. 職員が実施している養護・療育活動の意図を理解し記述することができる。 				

5. 保育士の専門性について理解を深め、保育士としての役割に沿った行動ができる。				
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>1. 事前オリエンテーション</p> <p>A) 実習施設の調整および指定をおこなう</p> <p>B) 実習に必要な書類作成</p> <p>C) 実習施設の概要を理解するための事前学習</p> <p>D) 個別の実習の課題の設定</p> <p>E) 実習施設が実施する事前オリエンテーションを受ける</p> <p>2. 施設での実習</p> <p>A) 養護・療育活動に参加し、適切な処遇の在り方を学ぶ</p> <p>B) 養護・療育計画を作成、実施する機会を設定する</p> <p>C) 地域の中での福祉施設の役割について理解する</p> <p>3. 施設実習の反省・振り返りをおこない、保育士の役割について理解を深める</p>	<p>観察・参加実習 (10日間)</p>		
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「保育実習指導 1」および「保育実習指導 3」を受講しており実習の実施要件を満たしている者。			
テキスト	守巧 小櫃智子 二宮祐子 佐藤恵 2014 実習施設パーフェクトガイド わかば社 北九州児童養護施設実習連絡会 「北九州児童養護施設実習の手引き」(保育実習指導の中で配布)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	駒井美智子 2014 施設実習ガイド 萌文書林 長島和代 2014 保育のマナーと言葉 わかば社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	施設実習は、生活そのものを子どもたちと共にする実習です。日常生活の自分の姿は子どもたちの健やかな発達にいい影響を与えることができるかどうか振り返ってみてください。			

達成度評価に関するコメント	実習施設で何を観察し、どのように行動し、どう考察したかが評価の対象になります。それらのことをきちんと記録できるようにしてください。実習施設からの評価は、その他として成績評価に反映させます。 実習指導の指導内容が守られなかった場合は、実習中の実習停止もしくは実習が終了している場合でも単位認定ができないことがあります。
---------------	---